

ステークホルダーへのアウトカム／インパクト

あすか製薬ホールディングスは、「先端の創薬を通じて 人々の健康と明日の社会に貢献する」という経営理念に基づき、事業を通じた社会課題の解決に向けて、投資家を含むさまざまなステークホルダーの皆さまとの対話が重要だと認識しています。皆さまの信頼に基づく健全な事業活動を通じて収益性を高め、長期的な価値の創造を目指しています。

ステークホルダー	創出するアウトカム			対応・取り組み事例	2023年度対話実績
 医療関係者	● 女性が健やかで豊かな生活を送るための選択の機会を提供します。 ● アンメットメディカルニーズ（まだ満たされていない医療ニーズ）に対応します。 ● 予防医療、未病改善に貢献します。			● 女性のライフステージにあわせた多種多様な医薬品を提供しています。 ● 医薬品が正しく製造され、医療に貢献できる適正使用情報を提供しています。 ● 内因性ホルモン高感度測定技術を活用して事業展開しています。	● 医療関係者向け講演会：63回 参加人数：36,407 名（オンライン含む）
 獣医療関係者・生産農家	● 動物の健康と食の安全を守り、人と動物が共生できる社会づくりに貢献します。			● 繁殖用ホルモン剤や、アミノ酸などの活用により、畜水産物の生産性向上に寄与しています。 ● 犬、猫などのコンパニオンアニマルの健康維持に有用な医薬品を提供しています。 ● 国際展示会やオンラインセミナーを通じて情報提供活動を展開しています。	● 獣医療関係者・生産農家向けセミナー：1回 参加人数：350名 ※ その他、全国各地で小規模セミナーを複数回開催。
 地域社会	● 健康の維持や病気と向き合うために必要な情報を発信します。 ● 女性のQOL向上、女性活躍推進に貢献します。 ● 循環型社会構築、生物多様性保全、気候変動への取り組みに貢献します。			● 女性の体と健康についての正しい情報を知っていただくためのウェブサイト「女性のための健康ラボ Mint⁺」を通じたさまざまな活動を展開しています。 ● すべての事業活動を対象に環境の保護と生物多様性の維持・保全、環境負荷の継続的低減を目指し、エネルギー使用量の削減、廃棄物の削減・再利用の促進、大気汚染・水質汚濁・化学物質などの排出抑制に取り組んでいます。	● 一般市民（患者さん）向けセミナー：7回 参加人数：743名 ● 「いわきカーボンニュートラル人財育成コンソーシアム」参画（いわき工場） 公開シンポジウム：1回 公開講座：15回
 株主・投資家	● 企業価値の持続的向上に寄与します。			● 中期経営計画2025を確実に遂行しています。 ● サステナビリティを経営の中心に据えて、経済的価値の最大化と社会的価値向上の両立に努めています。 ● PBR（株価純資産倍率）1倍超の早期実現を目指すための取り組みとして下記項目を実行しています。 1. 成長戦略（成長戦略の実施、キャッシュアロケーションの最適化） 2. 株主還元の強化（2025年3月期以降、連結配当性向30%を目安） 3. IR活動の強化（対話機会の創出、開示情報の充実）	● 決算説明会：2回 対話人数：90名 ● 証券会社主催 カンファレンス・ミーティング：3回 ● 個人投資家向けIRイベント：2回 対話人数：1,286名 ● 機関投資家向けIRイベント（パイプライン説明会）：1回 対話人数：31名 ● 個別IR取材／SR対話：100回 対話社数・人数：延べ110社・163名
 従業員	● ウェルビーイングを実現します。 ● 従業員エンゲージメントの向上。			● 従業員と経営陣との対話の機会を定期的に設定しています。 ● 全従業員が個の能力を最大限に発揮できる人事制度に加え、個の自律的な学びの意欲に応え、成長を支援するための教育研修体制を整えています。 ● 全社安全衛生基本方針に基づき、事業所ごとに安全衛生の活動を推進しています。 ● 従業員の健康管理にとどまらず、心身の充実や自律的な成長、組織のさらなる生産性および創造性の向上を目標として健康経営に取り組んでいます。 ● 多様な価値観を尊重するダイバーシティを強く推進していくための一歩として、女性活躍推進に取り組んでいます。	● 従業員と経営トップとの対話 対話回数：74回 対話時間：110.5時間 ● タウンホールミーティング 対話回数：12回 対話時間：12時間 ● ラウンドテーブルミーティング 対話回数：23回 対話時間：23時間 ● 労働組合との職場意見交換会 対話回数：1回 対話時間：3時間 ● 労使懇談会 対話回数：2回 対話時間：9時間